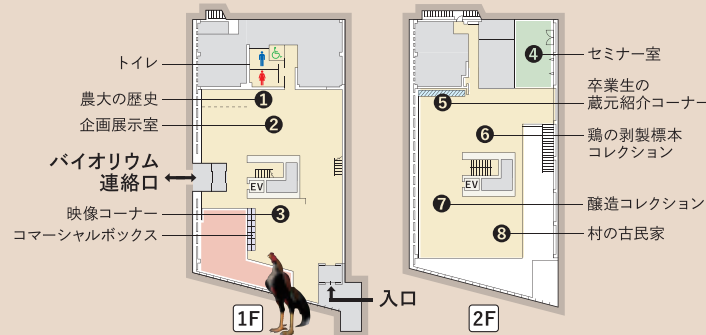


東京農業大学 「食と農」の博物館

食と農の「今までを」「今を」「これからを」発信する。

東京農業大学「食と農」の博物館は、2004年4月に学校法人東京農業大学と一般社団法人進化生物学研究所の協力のもと開館しました。その源流は、「日本の博物館の父」とも称される田中芳男が明治37(1904)年に設置した標本室に遡ります。東京農業大学の建学の精神は「人物を畑に還す」です。創立者榎本武揚と初代学長横井時敬の2人の学祖の共通の思いである実学主義を貫いてきた本学には、明治24(1891)年の創立以来、長い歴史の中で培ってきた膨大な研究業績や教育の実績といった、食と農に関する「知」が集積されています。



【建物について】 建築家・隈研吾氏の設計による、地域に開かれたミュージアムです。展示空間と研究施設が融合し、地域の人々と研究者との交流が自然に生まれるような博物館を目指しました。博物館の前面に広がるケヤキ並木と建物が、印象的な芦野石製の縦ルーバーを介し空間として連続しています。「エイジング」をテーマとし、時とともに色合いが美しく変化する自然素材を使うことで、東京農業大学らしく地域環境に溶け込む「和」をコンセプトとしています。

「食と農」の博物館・バイオリウム ご利用案内

●開館時間

9時30分～16時30分

●休館日

月曜日・祝日・大学が定めた日

※臨時休館がありますのでご注意ください。

●入館・入園料：無料

●交通のご案内

徒歩：小田急線「経堂」駅より約20分

バス：いずれも「農大前」下車徒歩2分

■小田急線「千歳船橋」駅から

東急バス・渋23(渋谷駅行)

・用01(用賀駅行)

■東急田園都市線「用賀」から

東急バス・渋22(渋谷駅行)

・用01(祖師ヶ谷大蔵駅行)

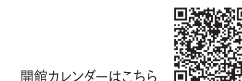
■JR「渋谷駅」西口から

東急バス・渋24(成城学園前駅西口行)

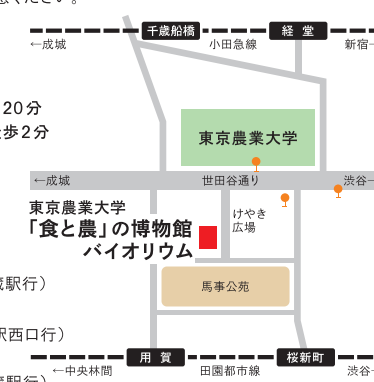
・渋22(用賀駅行)

・渋23(祖師ヶ谷大蔵駅行)

小田急バス・渋26(調布駅南口行)



開館カレンダーはこちら



①大学の歴史/1F 吹き抜けのエントランスの奥には、東京農大の歴史や創設者のパネル展示があり、日本の「食と農」における功績を知ることができます。



リン鉱石標本



田中芳男『有用植物図説』



鈴木梅太郎のオリザニン



②企画展示室/1F(上) 趣向を凝らしたテーマを設けさまざまな角度から「食と農」を発信しています。

⑥鶏の学術標本/2F(下) 国の天然記念物に指定されている日本鶏や外国品種約120点を展示しています。



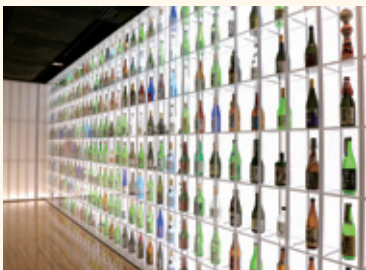
二母性マウス「かくや」



鶏の剥製標本

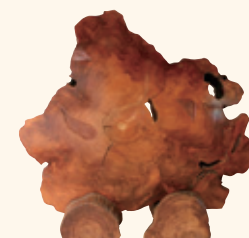


鶴卵金蒔絵杯



⑦常設展示室/2F(上) 「食と農」に関わるコレクションを常設展示しています。

⑤酒瓶オブジェ/2F(下) 全国に広がる東京農大卒業生蔵元の代表銘柄を紹介しています。



材蠶標本



足踏み脱穀機

⑧村の古民家/2F 産業考古学会から「日本の産業遺産300選」の指定を受けた本学学術コレクション「古農具」を、歴史的背景や使用方法についてイメージし理解できるように、農家の古民家を再現したジオラマ展示を行っています。

体験学習や
セミナーなどの設備も
充実しています。



③映像展示コーナー(左)
④セミナー室(右)

Event イベントや講座に参加しませんか？



各種講演会



子ども体験教室

体験講座

いろいろなイベントや講座を開催しています。詳しくは館内掲示やホームページをご覧ください。

東京農業大学「食と農」の博物館
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28
Tel.03-5477-4033 Fax.03-3439-6528
URL <http://www.nodai.ac.jp/syokutonou>

ホームページ



バイオリウム(一般財団法人 進化生物学研究所)
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28
Tel.03-3420-7449 Fax.03-3425-2554
URL <http://www.nodai.ac.jp/rieb/biorium/>

ホームページ

